

# 令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

社会福祉法人みのり愛の会  
めぐみ保育園

\*名称 社会福祉法人みのり愛の会 めぐみ保育園  
 \*所在地 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4丁目1番14号  
 \*設置 社会福祉法人 みのり愛の会  
 \*理事長 田村 仁  
 \*園長 佐藤 明美  
 \*開園年月日 平成 22 年 4 月 1 日  
 \*電話 03-5944-9791  
 \*FAX 03-5944-9761  
 \*E-mail megumi2010@minori-toshima.or.jp

【事業の概要】 令和4年3月31日時点

(1) 開所時間

7時15分～20時15分（13時間開所）  
 通常保育 9時00分～17時00分

(2) 入所定員及び在園児数

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
クラス	ひよこ	あひる	すずめ	ひばり	はと	つばめ	
定員	12名	13名	17名	18名	19名	19名	98人
在籍数	12名	13名	15名	18名	18名	20名	96人

児童の入所状況

保育所名		初日 在籍児童数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
めぐみ保育園	0歳児		6	6	7	8	8	8	
	1歳児		13	13	13	13	13	13	
	2歳児		15	16	16	16	15	15	
	3歳児		18	18	18	18	18	18	
	4歳以上児		37	38	38	38	38	37	
定員	98人		計	89	91	92	93	92	91
所長	設置								
民改費	10%加算								
延長	有								

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	8	10	12	12	12	12
1歳児	13	13	13	13	13	13
2歳児	15	15	15	15	15	15
3歳児	18	18	18	18	18	18
4歳以上児	37	37	37	38	38	38
計	91	93	95	96	96	96

(3) 職員の配置

(正規職員 28名 非常勤他職員 7名 計35名)

	園長	副園長	看護師	保育士	栄養士 調理師	用務	経理事務	合計
正規職員	1名	1名	2名	18名	5名		1名	28名
非常勤				3名		1名		4名
臨時				3名				3名

担当業務	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	フリー	
正規職員	4名	3名	3名	2名	2名	3名	1名	
非常勤							3名	
臨時	(朝)補助 1名	(夕)補助 0名	延長保育補助					
	土曜日対応 1名							

年齢	クラス	保育士				看護師	栄養士 調理師	園長 副園長 経理	
0歳児	ひよこ	柳澤	縄田	小川	藤原		渡邊(夏)	宮沢	佐藤(明)
1歳児	あひる	相澤	志賀	阿部			武田	渡邊(章)	小池
2歳児	すずめ	大島	田端	櫻井				小室	河原
3歳児	ひばり	鈴木	佐藤(和)					丸山	
4歳児	はと	佐藤(稚)	水藤					山本	
5歳児	つばめ	成塚	草野	土屋					
	フリー	塚原							
	計					18名	2名	5名	3名

朝・夕登降園申請状況

		0歳児	1歳児	2歳児	乳児計	3歳児	4歳児	5歳児	幼児計	合計
登園時間	7:15~	0	3	1	4	2	2	3	7	11
	7:30~	1	1	3	5	0	2	1	3	8
	8:00~	1	1	2	4	4	2	1	7	11
	8:15~	1	3	4	8	2	2	5	9	17
	8:30~	9	5	5	19	10	10	10	30	49
	合計	12	13	15	40	18	18	20	56	96
降園時間	~17:00	2	2	3	9	5	4	1	9	18
	~17:15	3	0	0	3	2	0	3	5	5
	~17:30	0	1	4	8	1	1	2	4	12
	~18:00	5	2	4	10	1	3	7	11	21
	~18:15	0	7	3	5	7	9	6	22	27
	~18:30	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	~18:45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	~19:00	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	~19:15	1	1	0	1	1	0	0	1	2
	~19:30	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	~19:45	0	0	0	0	0	1	0	1	1
~20:15	0	0	1	2	0	1	0	1	3	

## (4) 家庭及び地域の環境

### ① 地域の環境

東上線北池袋駅とJR板橋駅に近い住宅地の中にある。交通至便の立地条件もあり、両親が共に仕事を持つ家庭が多く、早朝保育の希望も多い。保育園を一步出ると車道と軌道が交差するという危険な地域でもあり、安全対策と指導に力を入れている。

保育園園庭側に駐輪場を設置し、保護者職員ともに利用している。また駐輪場側からの送迎も可能にし、北池袋駅利用者にとっては、利便性も高くなってきている。

保育園の周りは古くからの商店街が軒を並べ、下町の雰囲気漂わせて低層住宅が多いが、線路を渡ると新興マンションが建ち、新たな地域住民が増加している。特にJR板橋駅の大型マンションからは当保育園に通う園児も多く、大きな役割を担うこととなっている。

### ② 家庭の状況

両親有	89
ひとり親	8
祖父母同居	3
祖父母育児協力有	30
兄弟2人	53
兄弟3人	9
兄弟4人	0
兄弟なし	33

### ③ 保護者の就労状況

	父親	母親
常勤	89	80
自営業	1	0
非常勤・臨時雇用	2	6
パート	0	5
不存在	0	0
学生	0	0
障害児対応	0	1
介護対応	0	0

### ④ 保育時間

9時間以内	25
10時間以内	55
11時間以内	9
11時間以上	9

### ⑥ 在園児居住地域状況

池袋本町1丁目	5
池袋本町2丁目	4
池袋本町3丁目	1
池袋本町4丁目	71
上池袋1丁目	1
上池袋2丁目	2
上池袋3丁目	3
上池袋4丁目	9
東池袋	1
西巣鴨	1
池袋4丁目	0
計	98

### ⑤ 入園の理由

両親就労	96
病気	1
その他	1

### ⑦ 通園範囲

徒歩10分以内	80
その他	18

## (5) 年間行事報告

月	行 事	クラス行事
4月	1日(月) 進級・入園式 2日(火) 避難訓練	
5月	6日(木) 避難訓練 8日(土) 保護者会(Zoomにて) 11日(火) 全園児健診	17・24日(月) 体育指導(3.4.5歳児対象)
6月	2日(水) 避難訓練	14・21日(月) 体育指導 8日(火) 0歳児健診
7月	2日(金) 避難訓練 7日(水) 七夕 15日(木) 歯科検診 16日(金) プチめぐみまつり	12・19日(月) 体育指導 13日(火) 0歳児健診 30日(金) お楽しみ会(5歳児のみ)
8月	2日(月) 避難訓練	10日(火) 0歳児健診 30日(月) 体育指導
9月	3日(金) 引き渡し訓練	13・28日(月) 体育指導 14日(火) 0歳児健診
10月	5日(火) 避難訓練 11日(月) 眼科検診	11・26日(月) 体育指導 12日(火) 乳児 運動会(園庭にて) 12日(火) 0歳児健診 14日(木) 耳鼻科検診(幼児のみ)
11月	2日(火) 避難訓練 9日(火) 全園児健診	6日(土) 幼児 運動会(池袋第一小学校にて) 8・15日(月)25日(木) 体育指導
12月	2日(木) 避難訓練 7日(火) 避難訓練(不審者対応) 18日(土) 発表会	6・13日(月) 体育指導 14日(火) 0歳児健診 20日(月) イケバスツアー(5歳児のみ)
1月	5日(水) 避難訓練	18日(火) 0歳児健診 17・24日(月) 体育指導
2月	3日(水) 節分集会 8日(火) 避難訓練 26日(土) 保護者会(Zoomにて)	9日(火) 0歳児健診 8・15日(月) 体育指導
3月	3日(木) 避難訓練	2日(水) お別れ遠足(5歳児のみ) 19日(土) 第12回卒園式

## < 年間行事 >

### 令和3年度、12年目のめぐみ保育園の行事

「7月めぐみまつり」、「9月消防署見学・災害訓練体験」、  
「11月全園児親子遠足」、「1月新年子ども会」 →コロナの影響の為中止とする。

#### ・5月「保護者会」

5月の8日の土曜日に対面での保護者会を予定していたが、コロナの状況も収まらず、初めて各クラスZoomにて行った。  
2歳児クラスのみ人数が半数にとどかず中止とするが、その他のクラスは30分という短い時間であったが無事に行うことができた。初めての経験であったが、今後も取り入れられると良いと思う。

#### ・7月「お泊り保育」

当初6月に予定していたお泊り保育であったが、コロナの状況により7月に延期し、お泊まりはせずにお楽しみ会として夜の8時まで保育園で過ごした。

「海」をテーマに1日過ごすことになった。午前中は2階テラスにて泡遊びを行う。たらいの中を泡でいっぱいにし、頭や体を泡だらけにして普段ではできないことを思いきり楽しんで子どもたちだった。その後は夕食に使う食材を買いに近くの八百屋・肉屋へ買い物に行った。コロナの関係上調理を行うことができなかったため、そういった状況の中でも食材に触れさせたいという思いから、野菜を水洗いする経験をさせた。午後はみんなで大きな折り紙を使い、海の生き物たちを作った。壁一面に青いスズランテープで海を表現し、そこに自分たちで作った作品を飾った。またその魚たちを使って魚釣りを楽しんだ。隣の子と糸が絡まってしまったり、磁石がくっついてしまったりと、いろいろな気持ちの折り合いもつけながら、皆で協力して1つの物を作る、1つのことを楽しむという、協調性を養う良いきっかけとなった。

#### ・11月「運動会」

当初は10月に予定していたが、変更を余儀なくされ、11月の開催となってしまった。毎年借りている豊島区立池袋第一小学校の校庭(旧・文成)を今年は借りられることとなり、幼児クラスのみ縮小プログラムで行うこととなった。子どもたちは、いつもと違う雰囲気の中でも、自分の力を発揮し参加していた。年長児の鼓笛隊は今まで練習してきた成果を発揮し、楽器の演奏をしながら隊形移動をし、クラスで力を合わせて取り組む姿を保護者に観てもらった。乳児クラスも運動会に向けて練習を続けてきていたこともあり、保護者の方にもぜひ見ていただきたいという思いから、お披露目会として平日の夕方を使って、かけっこやダンスを見せる機会を設けることができた。乳児・幼児ともに一人ひとりの達成感に繋がっていった。運動会を延期にしたことで子どもたちのモチベーションを保つことが難しく、子どもたちの負担になってしまったことを考え、延期する日程も検討すべき課題が残った。

#### ・12月「発表会」

昨年度は動画配信の形をとったが、今年度はホールで行うこととし、1クラスずつ入れ替え制にして鑑賞してもらうことにした。保護者の方々に目の前で見てもらうことに緊張する子も多かったが、子どもたちは手作りの衣装を身につけ、自分の役になりきりながら演じることの楽しさを味わうことができていた。0歳児は運動会も参加できなかったため、大勢の前で披露することは初めてであったが、良い経験に繋がった。各クラス完全入れ替え制としたが、特に混乱することもなく、感染症対策としては、とても良い形だった。

#### ・3月「第12回卒園式」

昨年に引き続き、年長児とその保護者、職員のみ出席となり、来賓はご招待せず縮小して行うこととなった。今年度は子どもの入場口の場所を変えたり、保護者や職員の座る位置を変更したりと、例年とは違う形にし雰囲気を変えていった。その中、20名の卒園児が爽やかに巣立ち、感慨深い卒園式となった。

## (6) 主な事業

### I. 子どもの発達への援助

#### 【0歳児保育の充実】

6名の0歳児保育を行い個々の成長に合わせての保育計画を行った。また、子どもを預けるのが初めての保護者に対して連絡帳や受け入れ、お迎え等に丁寧な対応を行うよう心掛けた。

#### 【発達に問題のある子どもへの対応】

東部子ども家庭支援センターから発育巡回指導員と連携し個々の成長の指導と支援を行った。今年度も豊島区障害児保育審査会に1名の園児が対象となり、障害児加算の補助が適応された。

#### 【食物アレルギー児への対応】

8名の食物アレルギー児に関して医師の診断書を基に給食調理で該当物の除去、代替食を提供した。また、保護者との話し合いをしながら行い成長に伴い除去解除の子どもも後半出てきた。

#### 【地域との関わりの中での育ち】

豊島区立池袋第一小学校に年長児がお招きを受けたり、豊島区立池袋本町小学校には地域園長会の中で学校内をお借りしてほかの園の年長との交流を持ったりと、就学前に期待を持って生活ができるように配慮してくれている。

※今年度も昨年同様、両小学校より、学校での日常生活の様子などを納めたDVDをいただき年長児の期待を膨らませてくれた。

### II. 保護者への就労・子育て支援

#### 【長時間保育への対応】

7:15～20:15と長時間保育への対応として、1時間延長児には補食提供、2時間延長児には夕食提供を行った。0歳児クラスでの2時間延長児やアレルギー児の延長保育の補食・夕食提供には十分な配慮を行い実施した。また、18時15分を過ぎてからのお迎え等や連絡がなく時間外になってしまう等、延長保育受け入れ時間が課題となった。

#### 【年末保育への対応】

年末保育は実施しなかった。

#### 【なかよしの日】

年間6回のなかよしの日を行っている。1歳児～5歳児クラスの午前中、保護者と共に体験をして同じ年代の子ども達と遊び、楽しんでもらうことを目的として行っている。家族の皆様にも、保育園を知ってもらおう事や、保育園の子どもの様子を見てもらい保育園としての方針を理解してもらおう良い機会となる。

※今年度に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により、中止をした。

#### 【保育情報の提供】

園だより月1回・クラスだより月1回・給食献立月1回・保健だより月1回を保護者に情報提供を行った。

#### 【保育参加及び参観】

6・7・8・9・10・11月の年6回保護者の都合の良い日に乳児、幼児の1組、日頃の保育に参加してもらい家庭での子どもの様子を面談で話し合い、園との共通理解を得ることを目的としている。

※今年度に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により、中止をした。

### Ⅲ. 地域子育て支援

#### 【育児相談】

在園児の保護者からの育児相談が多く、年齢に伴い集団生活にでの子ども同士のトラブルに対する配慮等があった。

#### 【ふれあい体験】

今年度はふれあい体験への希望はなかった。

#### 【園庭・プール開放・行事等への参加お誘い】

今年度は、行事等の中止も多く、地域の参加は見送った。

#### 【短期間特例保育】

今年度は、1名のみ（2歳児）3か月間登園した。

#### 【パートナー保育登録】

園見学や体験保育を参加した家庭とパートナー保育登録を行い保育情報の発信や子育て講座のお誘いを行った。年間30組以上の登録があった。

## (7) 健康管理

### <健康管理年間表>

健康診断(田村医院)	年2回	歯科検診(大道歯科医院)	7月15日
0歳児健診(田村医院)	月1回	耳鼻科検診	10月14日
眼科検診(内田眼科)	10月11日	腎臓検査(3歳以上) (4・5歳児対象)	6月1日
蟯虫卵検査	5月27日	身体測定(園で実施)	月1回

3歳児・4歳児・5歳児対象に異常の早期発見を目的としたスクリーニング視力検査を実施し眼科健診時医師の指導を受け、要受診児の保護者に受診を勧める。



## <感染症報告>

- 4月 発生なし
- 5月 発生なし
- 6月 伝染性膿痂疹・突発性発疹
- 7月 水痘・感染性結膜炎・ヘルパンギーナ・頭ジラミ
- 8月 発生なし
- 9月 ヘルパンギーナ・ウイルス性胃腸炎・手足口病
- 10月 突発性発疹
- 11月 手足口病・突発性発疹
- 12月 発生なし
- 1月 発生なし
- 2月 突発性発疹
- 3月 水痘

- ・看護師を配置し園医の指導のもとに健康管理を行う。
- ・仕事や生活状況に配慮しながら、こどもの生活リズムに心を配る。
- ・ハンディーのある子どもは区の心理判定員による巡回指導を受ける。
- ・全園児、登園時と午後の2回、検温をする。
- ・看護師または保育士の視診の結果、健康状態の悪い場合は受け入れ時に考慮する。
- ・保育中に発熱、発病した場合は父母に連絡し、出来る限り早く迎えにきてもらいかかりつけの医師の診察をうけるようにしてもらう。
- ・38度以上の高熱が出た翌日は欠席し、全身の回復後に登園を促す。
- ・医師の診断のもとに出された薬（食物アレルギー緊急対応薬、心臓病、腎臓病、難病など持病薬、熱性けいれん止め坐薬など）の場合は、園でも与薬をする。（必要な場合のみで原則は、薬持参なし。解熱剤は投与しない。）
- ・伝染性の病気が治って登園する時は、医師の証明書を提出してもらう。
- ・保健所での健診、予防接種は受けるように指導する。
- ・看護師は保健だよりを適宜に発行する。

## (8) 給食

- ・年間を通して、旬の食材を積極的に使用し、担任保育士の意見や子どもたちの様子を参考に献立を作成した。今年度は感染症の影響で会食や調理保育ができなかったため、行事食では目で見て楽しめるように見た目や味にこだわった。つばめ組では3月にはリクエスト給食を取り入れた。自分で選んだ献立が出ていると知り、喜んでいる姿が見られた。
- ・離乳食は、食材の切り方や食事量を保護者に見てもらうため、5月と11月に離乳食の展示を行った。11月にも展示したのは、成長し食事形態が移行した状態の離乳食も見てもらいたい為である。展示を行ったが興味を持って見ている保護者と、そうでない保護者の差を感じた。月齢が上がっていても市販のベビーフードを食べさせている家庭があり、個別に声掛けをして実際に食べている離乳食の試食を行った。
- ・3月のお別れ会食では、オムライスを提供したがつばめ組のみご飯を卵で包み、プレート皿で提供をした。絵を一人ひとり自由に描いてもらい、ピックを作った。感染症の影響で会食はできなかったが、普段とは違う給食に楽しんでいる様子だった。
- ・毎年行っている鰯の手開きを今年度は行うことができ、とてもいい経験となった。怖い、気持ち悪いと言ってしまう子どもや興味津々に前のめりになって見ている子どもが多く、その姿が印象的だった。子ども達の知っている身近なイワシを使う事で、命を食している事の大切さや、食べ物に対する感謝の気持ちを忘れないことを伝えた。
- ・当日の給食は実物を展示し、夏季は衛生面を考慮し写真の展示を行った。食育掲示板では、食材の産地を掲示し保護者のリクエストに応じてレシピの配布も行った。年間を通して、食の情報を発信してきた。
- ・誕生日の園児には、手作りの旗と専用のお皿を用いておやつ時にお祝いをした。
- ・つばめ組を対象に、より給食室を身近に感じてもらうため給食室見学を行った。今年度は感染症の影響もあり、給食室の設備や器具を写真でクイズ形式で説明した。家庭にはない大きな鍋や、炊飯器に驚いている姿が印象的だった。乾物の高野豆腐やわかめを実際に触ってから、水で戻した物を触り、差を感じてもらった。5kgの米袋を持ってみたり、とても興味を持ってきていた。
- ・今年度は感染症対策をとりながら出来る新しい食育を考えて実施することが出来た。中でも野菜栽培や、食材の触覚クイズ、マナー講座の反応が良かった。実際に体験できる食育を行うことで子ども達の印象に残ると感じた。

## (9) 安全管理

- ・ 乳幼児期は大人の援助が必要な時期であり、保育所の細心の注意や機敏な行動で危険を防止することが大切である。
- ・ 寝返りのできない乳児の睡眠に当たっては、仰向けに寝かせ呼吸や顔色、嘔吐の有無等きめ細かに観察し記録する。記録者はサインする。（新生児乳児呼吸モニター使用）
- ・ おむつ交換時には目や手を離さない。
- ・ 子どもの成長を見極め、安全性に考慮しながら怪我の無いようにする。
- ・ 遊具、玩具の危険性を点検し、危害防止の措置を速やかに行う。
- ・ 危険物を保育室に置かない。

### \*園外保育

- ・ 園外へ出かける際は、必ず事務所に行き先を伝え、散歩ノートに園児数、引率職員数等記入し園児人数を確認して安全な道路を選んで行動した。連絡の取れる様に誰が携帯を持っていくのかも記入するようにしている。

連絡簿、救急用品を持参して行く。

- ・ 夏の猛暑の時は、園外での活動を控え、水分補給を取れるように配慮している。

### \*子ども権利

- ・ 育児困難な家庭の場合は、東部家庭支援センターと連携を取り、虐待の育児、困難家庭に関しては、東京都児童相談センターと連携を取るようになっている。
- ・ 育児困難な家庭は担任を交えながらの面接を行うように指導している。

## (10) 衛生

- ①害虫駆除＝調理室にはゴキブリ駆除薬を保育終了後取り付ける。  
保育室および園外建物周辺に関しての害虫駆除に関しては保健所  
および専門家の助言を受け駆除対策を行う。
  
- ②ふとん洗濯＝年2回専門業者に依頼しふとん洗濯を行う。  
天気が良い日幼児は、週に一度クラスごと保護者の力を借りて  
ベランダに天日乾燥を行う。
  
- ③玩具、仕切り柵、棚、乳児クラスのテーブルの消拭＝乳児の玩具や仕切り柵、  
棚、乳児クラスのテーブルは1日1回ピューラックス液で拭く。  
(伝染性の病気が発症した場合は、各クラスで消毒を行う。)
  
- ④食器消毒＝哺乳瓶、乳首等は、専用液体で消毒を行いその後電子レンジ  
で加熱を5分行う。殺菌庫で30分間消毒する。
  
- ⑤食器保管＝熱風消毒保管庫に収納する。
  
- ⑥細菌検査（0-157を含む）＝副園長、栄養士、看護師、全クラス担任、フリー職員、  
保育補助者は毎月1回実施する。  
\*6月・12月は、全職員が実施。
  
- ⑦空間洗浄機
  
- ⑧手指消毒機

## (11) 運営管理

### <管理運営分担>

園長	<人事管理>職員及びパートの採用 看護師の健康管理・栄養士の栄養管理の点検 指導保育者のクラス運営
	<指導監査>立会い
	<施設管理>園舎の整備、保守管理
	<財務管理>予算編成及び管理、決算書作成、物品購入
	<防火管理>避難誘導訓練の実施、防火設備の点検、災害備蓄品の確保
	<園児管理>児童名簿作成・保育課との折衝・事故処理
	<諸会議運営>職員会議・代表者会議・理事会  保護者会・地域との折衝・苦情解決責任・豊島区園長会 学校運営連絡会(本町小学校)
副園長	園長の補佐・職員のまとめ役・各職員職務助言(指導) 保育運営の人員配置(勤務表作成・有休・週休・ローテーションの調整等)
	保育指導計画、保育記録の指導点検(クラス日誌・個別表・月案・週案)
	研究活動の指導、実習生の指導、園内研修計画・外来業者の受付案内 ・保育教材発注
	保護者や地域の保育相談・苦情相談受付者 ・地域子育てネットワークへの参加

### <業務委託>

\*別紙参照の事業所に業務を委託する。

### <苦情解決>

- \*苦情解決責任者(園長:佐藤明美)
- \*苦情受付担当者(副園長:小池ちはる)
- \*第三者員(監事:須田 徹、民生員:原田 シズイ )

- ・全体職員会議 = 月1回 年間行事計画に記載
- ・リーダー会議 = 午後1時30分～2時30分  
園長:佐藤 副園長:小池  
0歳児:柳澤 1歳児:相澤 2歳児:大島  
3歳児:鈴木 4歳児:佐藤(稚) 5歳児:成塚  
看護師:渡邊(夏) 栄養士:宮沢 経理事務:河原
- ・保育者会議 = 随時要望に応じて実施 午後5時～7時
- ・給食・離乳食会議 = 月1回 午後1時30分～3時
- ・衛生会議

## <福利厚生>

- ・ 共済会＝豊島区勤労者共済会に加入（慶弔金の支給、レクレーション、指定宿泊施設）
- ・ 職員健康診断＝政府管掌一般検診
- ・ 給食＝1食400円昼食・おやつ。希望者に提供。
- ・ 職員細菌検査（0-157含む）
- ・ インフルエンザ接種助成金として接種した職員に、年1回委託医の料金を基準に補助する。田村医院へ依頼して集団での予防接種を行った。
- ・ 福利厚生＝年度末の慰労会にて職員に補助する。
- ・ 職員被服費＝新任職員・給食職員
- ・ 社会保険＝健康保険・厚生年金・雇用保険に加入。
- ・ 退職金＝独立行政法人福祉医療機構に加入
- ・ 労災上乗せ保険
- ・ 休憩＝1時間の休憩を交替でとる。

## ◎施設整備

### 保守管理

- ・ コンピュータサーバーにてウィルス情報流出の防止、バックアップ管理。
- ・ 消防署に消防計画を必要に応じ提出する。
- ・ 非常通報装置保守点検＝テルウェル東日本3ヶ月に1回点検
- ・ 電気関係修理＝奈良電気
- ・ 設備修繕＝（株）柳工務店

## ◎防災・防犯

- ・避難訓練＝月1回状況に応じて場所を設定して行う。
- ・消火訓練は毎月消火器の扱いに慣れるため実施する。
- ・防災訓練＝年1回(9月)園独自の引き取り訓練を実施する。  
今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により保育園にて引き取り訓練を実施した。
- ・火災報知設備の点検＝年2回定期点検をし消防署に結果を提出する。
- ・非常用備蓄食品＝水、乾パン、おかゆ、五目ごはん、缶詰など。
- ・施設強化補助金15万円＝災害用に避難車を購入する。

## ◎続いて起きる震災や災害から守るために

東日本大震災から10年、熊本の震災から5年がたち、続いて起きる震災から子ども達を守るために保育園として年間を通し検討してきた。緊急に備え3日間の備蓄品や園内の安全性を考え、東日本大震災からしっかり備えることを進め、安全強化に繋げている。職員との緊急時における対応等を話し合い、災害用品の数確認や役割を決めながら備蓄品を保管している。

## ◎職員研修教育

今年度も、職員全体で研修に取り組めるように(株) ビジネスファームの代表取締役藤原徳子氏と年間契約を行った。この研修は、両園の職員同士がコミュニケーションを取るきっかけになり一緒に仕事をする上で人を思いやる精神的な部分を強める良い機会となる。また、藤原徳子先生と1対1で話す時間を設け、カウンセリングを前期、後期と年2回行った。仕事の相談や自分の気持ちの整理など先生に話すことによって、一人ひとりのモチベーションアップに繋がっていった。

豊島区、東京都などが主催する研修にも、なかなか参加することができなかった。来年度は状況を踏まえながら、さまざまな研修を受ける予定である。個人の持つ意識を高め、そのことが保育の質の向上次いでは園の向上に繋がるので、多くの研修に参加することで少しずつ繋がっていけるようにしていきたい。

## ◎園外研修報告

研修主催		派遣人数	予算単価	予算額	出張者名
救命救急訓練	初講	2	2,600	5,200	渡邊(夏)・相澤
	再講	8	1,600	12,800	小池・草野・縄田・河原・宮沢・渡邊(章)・佐藤(稚)・成塚

## ◎研修内容

研修主催	テーマ	出張者名
豊島区私立園長会	コロナ対策について	小池・武田
豊島区子ども若者課研修	重大事故を防ぐ(乳幼児)	渡邊(夏)
豊島区子ども若者課研修	アレルギー治療と乳幼児の病気(基礎編)	武田
豊島区子ども若者課研修	アレルギー治療と乳幼児の病気(発展編)	武田
豊島区子ども若者課研修	乳幼児の食べる機能と発達	藤原
豊島区子ども若者課研修	施設長研修	佐藤(明)
豊島区子ども若者課研修	発達障害・気になる子の理解と支援	小池
ホシザキ関東株式会社 オンラインセミナー	秋のイベントメニューご提案セミナー	丸山・山本
公益財団法人 東京都福祉保健財団	アレルギー対応体制強化・リーダー養成研修	小池・草野・縄田・渡邊(夏)・武田・渡邊(章)
公益財団法人 東京都福祉保健財団	食物アレルギーの基礎知識と保育場面での対応のポイント	藤原・佐藤(和) 丸山・山本
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	部下・後輩を育てるコーチング	小池・草野・縄田・相澤・大島・鈴木・柳澤・渡邊(章)
社会福祉法人 日本保育協会	感染症対策セミナー ～基礎編～	武田
社会福祉法人 日本保育協会	保護者支援・子育て支援研修	小川・櫻井
社会福祉法人 日本保育協会	幼児教育担当者研修	鈴木・成塚
社会福祉法人 日本保育協会	乳児教育担当者研修	柳澤
一般財団法人 保健福祉振興財団	マネジメント研修	大島・佐藤(稚)